

石川県内の企業・団体で働く 女性管理職のロールモデルにインタビュー！



株式会社道洋行

営業企画兼ブライダルチーム 次長 中島 美穂 さん

<プロフィール>

- ・卒業後、メーカーの東京支店に5年勤務
結婚を機に退社し、石川に移住
- ・H18 (株)道洋行入社
- ・H26 主任（管理職）に就任
- ・R3 現職（今までに3度の産育休を取得）

Q 現在のお仕事について教えてください

A 著作権フリー音源のECサイトの運営管理やデザイン、ブライダル事業の管理業務を主に行っています。

Q 今までのキャリアについて教えてください

A 短大卒業後に上京し、モニターメーカーの東京支店で営業アシスタントとして5年勤務していました。結婚を機に石川県に移り、人生2社目の就職が今の会社です。

最初は社長室での営業企画部に配属され、その後、会社が権利保有している音源販売のECサイト運営を手掛けています。現在は、BGM事業だけではなく、営業企画部や、弊社が40年以上続けるブライダル事業の管理も受け持つ掛け持ちスタイルでやっています。

Q 管理職を打診された際は率直にどう感じましたか？

A 数年間従事していたこともあり、管理職である主任への打診は正直「やっ」といった感じでした。制作会社は職種柄男性社会と認識していたので、出産で出入りする女性にはまだまだ厳しい業種だと感じていましたが、やっぱりなかなか役職がつかないと思うことがよくありました。

主任昇格後の昇格は早かったと思います。どの役職においても現場コントロールは自信があったので、問題なく受け入れましたが、さすがに部署をまたいでの責任がついてくる次長級の打診は、躊躇しましたね。

Q 管理職に就いてから変化したことを教えてください

A 毎週の売上や、部署の売上、原価や粗利へ対しての意識を常に持つようになりました。

プロジェクトの統括管理や部署を超えた調整もすることになり、管理規模や責任の範囲は大きく変わりました。それまでは、自分の満足度で仕事の出来を自分で評価していましたが、チームを抱えるとなると、スタッフひとりひとりが課題を抱えていないか、業務に支障がでていないか、部下の能力や個性が活かしているか 等、自分がマネジメントできているかを意識するようになりました。



「会社として初めての音源販売の業務を言い渡されたときは、まさかこんなにこの業務が長く続くとは思っていませんでした（笑）。思い返せば、社内からの期待は感じず、むしろ辞めた方がいいんじゃないかという空気もありましたが、売上が出てくると社内の雰囲気もどんどん変わっていったのを覚えています。」と話す中島さん。

Q 管理職になってよかったと思うことややりがいを教えてください

A 自分の裁量で進められることが多くなったので、自身の行動による成果が分かりやすくなり、数字を達成したときの喜びが大きいです。また、チームの成功が自分の成功ですので、部下が楽しんで仕事してくれて、一緒に成長してくれると、マネジメントが上手くいっていると実感できて嬉しいです。

退職していく部下に「上司が中島さんでよかったです」といった手紙や言葉をもらった時は、申し訳ない気持ちもありましたが、自分のやり方に自信がついた瞬間でもあり、涙が出るほど嬉しかったです。

Q キャリアと私生活の両立について悩まれたことはありましたか？

A 子育て15年ですが、育休から現在まで、悩みがないときはないですね（笑）。

3度の産育休を取得しましたが、復帰後の時短も活用していたので、職場内での理解がどこまであるのかいつも不安でした。夫も私も県外出身で頼れるところがなく、また、夫も海外出張で不在が多く、子供の都合で休みが必要な時は、私が休みをとらざるを得ない状況だったので、会社に対してはとても気が引けていました。役職がついているのに、子供の行事等で会社を不在にすること、子供の送迎時間に合わせて残業もしないこと、そういった点はいつも肩身が狭かったのですが、その分、いつも結果を出すことに執着していると思います。

子供が大きくなってきても、週末は部活動やスポ少のイベントがぎっちり詰まっており、いまのところ暇ができそうな感じはないですが、オンオフ切り替えてメリハリをつけています。

夫や友達の協力なしではここまでやって来られなかったと思っているので、周りにはすごく感謝しています。

Q 最後に、今後管理職を目指す後輩へ一言メッセージをお願いします

A 私が大事にしていることが3つあります。

『コミュニケーションをとること』

『周りを巻き込んで人に頼ること』

『週末やプライベートを自分自身が楽しむこと』

管理職は「おせっかい」位でちょうどいいと思います。部下の世話がどれだけできるか、が管理職がうまくできるかの肝だと思います。

また、仕事に縛られず、広い視野でいろんなことに興味や好奇心をもっておけば、とっさのアイデアに繋がります。足を運んでいろんな体験をする時間を作ること（年一回の旅行）も私は大事にしています。有休も有効に使ってしっかり楽しんだもん勝ちです。

最近はネット環境に慣れすぎて人間同士のやり取りを不得意とする子が多い気がしますが、「当たり前」のやり取りこそが一番大事だと思っています。

後輩の模範になる為には、部下に指示をするのではなく、自分が一緒に行動することを意識すれば、自然と周りについてきてくれます。そして、時には部下が自分を引っ張ってくれます。一緒に働くメンバーに「ありがとう」の気持ちでいつも感謝を！



村本社長からは、「まず何と言っても、中島次長のチームは関係性が構築されているからこそ常に雰囲気明るい！また、責任感が人一倍強く、上司に対しても違うものは違うと自分の考えをしっかりと説明するので、信頼がかけます。思ったことは率先して行動に移しており、そのような姿が後輩の良い手本となっています。まさに“カッコいい”社員であり、誇りに思っています」とコメントをいただきました。